

ていしんしゅうけいついついきゅうけいせいじゅつ
② 低侵襲頸椎椎弓形成術

けいついしょうせいせきずいしょう こうじゅうじんたいこつかしょう

頸椎症性脊髄症や後縦靱帯骨化症(首の骨や椎間板、靱帯の変形によって脊髄が圧迫される病態)に対して、低侵襲な手術を行います。通常の椎弓形成術は大きく切開して、頸椎から筋肉を大きく剥がして施行しますが、骨や筋肉の傷が大きくなならない方法で手術を行います。

手術の概略 全身麻酔で手術時間は約90分程度

- 首の筋肉や靱帯を最大限に温存しながら、椎弓(骨)を露出
- 傷口が小さく、術後の痛みも軽いため、大きな問題がなければ術後約1週間で退院可能
- 手術当日はベッド上で安静ですが、翌日からカラーを装着して食事、歩行練習などを開始

